

平成27年度取組状況

ものづくり工学科 ロボット工学コース 准教授 鈴木拓雄

取組状況	
教育	<p>1.設計製図ⅡにPBL教育を導入 一人一人の学生に異なる仕様を与え、これをプロジェクトに見立てて機械を設計させ、さらに実寸で製図させることにより、ものづくり教育を行っている。学生が設計した各種寸法を厳密にチェックし、学生の理解が至らない箇所が明確になるようにしている。</p> <p>2.ロボット工学実習Ⅲにチームを対象したPBL教育を導入 「自走型ジャッキロボット」を機械加工により作成する課題において、4～5名ずつのチームを編成し、各チームには班長・資材管理者・寸法管理者などの担当を決めさせた上で、工程管理を各チームにさせる。限られた資材や工作機械を利用して決められた期限までに「自走型ジャッキロボット」を完成させることを通してチームで「ものづくり」をするににあたって学生が各自の役割を認識できるようにしている。</p>
研究	<p>1.論文 面内荷重下での円形介在物内に別種の偏心円形介在物が存在する弾性体の応力解析, 宮川睦巳, 鈴木拓雄, 田宮高信, 佐々木徹, 日本機械学会論文集, Vol.81(2015),No.826,p14-00425.</p> <p>2.学会発表 ① 面内荷重下における複数の円孔を有する弾性体の応力解析, 久保充慶, 宮川睦巳, 鈴木拓雄, 宮下幸雄, 数理科学会講演論文集, 34, CD-ROM(2015-8) ② 微視組織の異方性と形状を考慮した弾性体の解析に関する研究, 境田健吾, 鈴木拓雄, 宮川睦巳, 田宮高信, 数理科学会講演論文集, 34, CD-ROM(2015-8)</p>
社会貢献	<p>出前授業 ①10月8日 帝京中学校(テーマ名:糸電話じゃないよ圧電話) ②2月13日 荒川区第三中学校(テーマ名:見えない力を見る技術)</p>